

O を原点とする座標平面において、3 点 E(1, 0), A(0, s), B(0, t) を考える。
 ただし、s, t は実数で、s < t とする。O を中心とする半径 1 の円を C とする。直線 EA
 と円 C の 2 つの交点のうち、E と異なる方を P とする。また、直線 EB と円 C の 2 つ
 の交点のうち、E と異なる方を Q とする。次の問いに答えよ。

- (1) P の座標を s の式で表せ。
- (2) 直線 EP と直線 OQ が垂直であるとき、t を s の式で表せ。
- (3) 直線 EP と直線 OQ が垂直であり、 $\angle EQP = \frac{\pi}{3}$ となるとき、s と t を求めよ。

[2026 大阪公立大 理系 前期]

[解答例]

円 C : $x^2 + y^2 = 1$ ……①

(1) 直線 EA の方程式は

$$EA : y = -sx + s \quad \dots\dots②$$

② を ① へ代入して

$$\begin{aligned} x^2 + (-sx + s)^2 &= 1 \\ (1 + s^2)x^2 - 2s^2x + (s^2 - 1) &= 0 \\ (x - 1)\{(1 + s^2)x - (s^2 - 1)\} &= 0 \end{aligned}$$

x ≠ 1 となるのは $x = \frac{s^2 - 1}{s^2 + 1}$
 このとき、② から $y = \frac{2s}{s^2 + 1}$
 よって

$$\boxed{P\left(\frac{s^2 - 1}{s^2 + 1}, \frac{2s}{s^2 + 1}\right)}$$

(2) (1) と同様にして $Q\left(\frac{t^2 - 1}{t^2 + 1}, \frac{2t}{t^2 + 1}\right)$

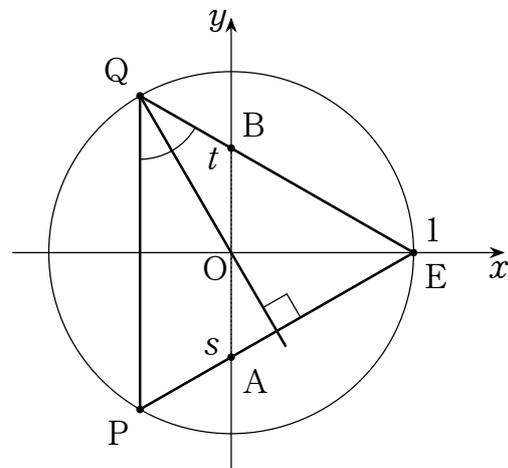
$$\begin{aligned} \vec{EP} &\parallel (-1, s) \\ \vec{OQ} &\parallel (t^2 - 1, 2t) \end{aligned}$$

EP と直線 OQ が垂直である条件は $\vec{EP} \cdot \vec{OQ} = 0$ であるから

$$\begin{aligned} (-1, s) \cdot (t^2 - 1, 2t) &= 0 \\ -(t^2 - 1) + 2st &= 0 \\ t^2 - 2st - 1 &= 0 \\ \therefore t &= s \pm \sqrt{s^2 + 1} \end{aligned}$$

よって s < t であるから

$$\boxed{t = s + \sqrt{s^2 + 1}} \quad \dots\dots③$$



(3) $\angle EQP = \frac{\pi}{3}$ となるとき, \widehat{EP} に対する円周角の定理を用いて

$$\angle EOP = 2\angle EQP = \frac{2\pi}{3}$$

ここで $OE = OP = 1$ であり, かつ $s < 0$ より P は第 4 象限にあるから

$$\vec{OP} = \left(\cos\left(-\frac{2\pi}{3}\right), \sin\left(-\frac{2\pi}{3}\right) \right) = \left(-\frac{1}{2}, -\frac{\sqrt{3}}{2} \right)$$

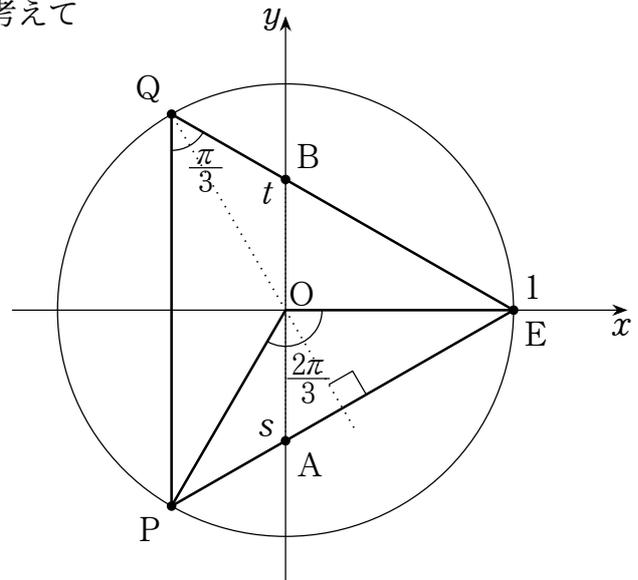
3 点 E, A, P は一直線上にあるから, 傾きを考えて

$$-s = \frac{1}{\sqrt{3}}$$

$$\therefore s = -\frac{1}{\sqrt{3}}$$

③ から $t = \frac{1}{\sqrt{3}}$

よって $\boxed{s = -\frac{1}{\sqrt{3}}, t = \frac{1}{\sqrt{3}}}$



③ $s = \tan \frac{\alpha}{2}$ とおくと $P(\cos \alpha, \sin \alpha)$

③ $\angle EQP = \theta$ ($0 < \theta < \frac{\pi}{2}$) とすると

$$\cos \theta = \frac{1 - 3s^2}{1 + 3s^2}$$

③ $\triangle EPQ$ は正三角形である.